

# らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ

常木らくだ

どうもです、らくだです。

バタバタしているうちに、ついに3月になりました。

今週は前に受けた検定の発表2つと、アイスクリスタルの結果通知と、SDの2次発表が重なっています。

もし全部落ちたりしたら、猛烈に荒れ狂いますので、よろしくお願いします。

それはさておき、恒例のpapier版をアップしたので、よしなにどうぞ。

らくだ図書館は皆様に愛され続け、先月で更新38か月を迎えました。

え、愛してない？

いいんだよ、こういうのは言ったもん勝ちだ！

【らくだ図書館（38）】

<http://p.booklog.jp/book/95841>

というわけで、今後も小説投稿の問はず語りを続けますので、執筆の合間などにチェックしてくださると嬉しいです。

しかし、今日から3月ってことは、電撃の締切りまで1か月ちょいなわけで……。

今まで複数投稿していたんですが、今年は諸般の事情で1作限りの投稿で、しかもその1作が間に合うか微妙なので、これから真剣に頑張らなきゃいけないです（汗）

まあでも執筆による苦労は、大変な反面、楽しくもありますけどね。

これからも投稿と真剣に向き合って、その時々正直な気持ちを、ここに綴っていきたいと思います。

先日書いた「何もかも無駄」の話題について、誤解を招かぬよう、ちょっとばかり補足をしたと思います。

テーマはズバリ、

『デビューできなかったら、小説投稿に費やした労力は、何もかも無駄になるのか?』

自分の姿勢は「そんなことない」ですが、自分自身のためにそういう厳しい考え方をするなら、それはおおいにアリだと思うんです。

- ・デビュー以外はすべて負けだ……
- ・慢心せずに次はもっと上を目指そう……
- ・高次残りの経歴なんていくらあっても無意味……

そう思うことで、もっと頑張れるなら、それは好影響ですもんね。

ただ「何もかも無駄」と思うことで、精神的に追い詰められているのなら、その考え方は捨てた方がいいんじゃないかなーと。

甲子園で優勝できるのは一校ですが、優勝校以外の球児は野球をやって無駄なのかというと、そんなことはないと思いませんか？

本気で好きなスポーツに励んだら、自己研鑽になるだろうし、友情も芽生えるだろうし、それこそ青春そのものですよ。

優勝できなかったことで、努力の価値が減るのかというと、そうじゃないと思うんですよ。うまく表現できませんが、それは投稿にも言えるぞって、自分は思っているわけです。

まあ、前にも書いた通り、自分が言っても負け惜しみ感が拭えませんが……（汗）

でも、本気で努力した経験は、人生においてきっと役に立つと思うので、これからも出し惜しみせず全力で投稿に取り組みたいです。

創元SFの1次結果が発表されました！

例によってリンクを貼っておきます。  
通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.tsogen.co.jp/award/sfss/>

応募総数 510作品  
1次通過 56作品  
通過率 約11%

ウェブ応募 412作品 / 郵送応募 98作品  
最少年齢 15歳 / 最長年齢 78歳

創元さんのように、詳しいデータを公表してくれると、面白いですよ。  
男女比が載る賞はありますが、年齢の幅とかは、普通あんまり聞かないです。

しかし何とんでも、自分が意外に思ったのは、ウェブ応募と郵送応募の内訳です。  
半々程度かと思ってたんですが、やはり今の時代、ウェブ応募が圧倒的なようで。

自分が投稿する場合、両方可可能な賞は郵送してるんですが、これって実は少数派なんですねえ……。

まあ、だから何ってわけでもないんですが、他の方々の投稿スタイルが垣間見えるのは、投稿者として非常に興味深いと思いました。

そんなこんなの、創元SF短編賞。  
2次は近日発表ということなので、結果を楽しみに待ちたいです。

アイスクリスタルは落選でした！！

うーん……。

明日は2次発表なのに幸先が悪い……。

まあでもスケートファンが多ければ、その分観戦も盛り上がりますし、これに懲りず次回もエントリーします。

結果的にどの程度の倍率だったのか気になりますが、検索数の多さから想像すると、確実に1,000は越えてるような気がしますからね（汗）

さてさて。

せっかくですので今回は、スケート関連の話題を。

これまで民放では放送されなかったワールドジュニアが、今年はフジテレビで放送されるようです！

全日本で若手選手に注目が集まった影響でしょうか。

フリーのみですが放送があるのは、ファンとして嬉しい限りですね。

[【放送予定はコチラ】](#)

しかし、コレ……。

喜び勇んでチェックしたら、関東ローカル放送だった……。

というわけで、大阪の自分は残念ながら見られませんが、その分ワールドに期待しようと思います。

関東の皆様はどうぞ楽しんでください（嫉妬）

1次通過していたSDですが、あえなく2次で落選でした。

というわけでリンクだけ！

通過した奴らは良かったなコノヤロー！

【発表ページ】

<http://dash.shueisha.co.jp/award/result.html>

応募総数 884 作品

2次通過 51 作品

通過率 約6%

しかし真面目な話、これだけ落選していると、たまに本気で思うんですよね。

どうして幸運に選ばれるのは、毎回毎回、自分じゃないんだろうって。

小説投稿の女神様は、自分の横を素通りして、いつも他人に微笑んでいるなあって。

ワナビーナスはとんでもねえビッチだけ……（違）

でもきっと、賞に選ばれている方々は、自分以上に努力をしているんでしょうね。

いつかその領域まで行けるよう、文句言っていないで、前向きに精進しようと思います。

少なくとも自分の場合、落選がキッカケでやめることは、絶対にはないですからね。

もし投稿をやめる瞬間が来るとしたら、それは「伝えたいことがなくなった時」ですが、幸か不幸かまだ伝えたい思いが大量にあるので、それがあ限り書き続けるつもりです。

というわけで、選考中の賞がなくなりましたが（涙）、新作を書き上げてまたドドーンと送ろうと思います！



ブログに落選報告を書いたら、その日のアクセスがドドーンと伸びる現象に、誰か名前をつけてください。

そんなに常木のへこんだ姿が見たいなんて、皆様とんでもないドSだと思いますが、自分はそんな読者の皆様を愛しています。

さてさて。

アイスクリスタルの抽選漏れやら、スーパーダッシュの2次落選やら、しばらく残念な話題が続きましたが、簿記2級に合格することができました。

簿記には4級から1級があります。

3級以下は入門という位置付けで、実務に役立つのは、2級以上とされています。

え、どうして経理職でもないのに、わざわざ簿記を勉強したのか？

だって作家デビューしてプロになったら、自分で確定申告しなきゃいけないから、経理の知識を身につけておかないとッ！

というわけで、簿記の勉強は、とらたぬの一環です。

寂しい妄想家なんて呼ばず、用意周到と呼んでください。

あと、FP3級も合格でした。

頭でっかちになってもダメですが、努力が実る瞬間は、やっぱり嬉しいものですよね。

投稿は落選ばかりなので、合格っていう文字を見ると、正直言って癒されますし。

そういうわけで、執筆も進めつつ、引き続き勉強は続けます。

もちろん投稿もやめないなので、今月中には、新作を仕上げたいと思います。

## ケアンズの街中 - 2015.03.07 Sat

---

らくだ図書館ファンの皆様、長らくお待たせしました！

いや、誰も待ちやいないと思いますが、一週間ほどオーストラリアへ行ってきたので、その写真を今日から順にアップしていこうと思います。

まずはコチラ、関空の搭乗口。

何度海外旅行へ行っても、この瞬間は緊張しますね。



オーストラリアは今回が初めてですが、ケアンズまでは約6時間（行き）でした。

10時間くらいかと思っていたので、想像以上に近くてビックリです。

下は飛行ルートモニター画面ですが、グアムあたりが半分くらいなんですね。



続いての写真は、機内食の朝ご飯。

朝ご飯……といっても、早到着の便なので、深夜2時くらいです。

さすがに食欲が湧かず、残してしまいました。





そうこうしている間に、ケアンズに到着です！

早朝でまだ真っ暗なので、別の日の写真を載せますが、空港は広々としています。  
飛行機はLCCのジェットスターですが、特にサービスが悪いわけでもなく快適でした。



ここまで順調だったのですが、空港でスーツケースをピックアップした瞬間、大変な事実気付きました。

**スーツケースのカギを自宅に忘れた！**

え、えっと……？

こういう場合はどうしたら……？



スーツケースが開かないと、カメラの充電どころか、着替えすらできません。  
仕方がないので、地元のカギ屋さんへ直行して、ダメ元で開錠を頼んでみることに。

トホホ……。

まさか到着後に最初に向かうのがカギ屋なんて……。



カギ屋さんの名刺。

開錠は不可能だと言われたので、スーツケースごと、乱暴にぶち壊してもらいました。

でも、開いてよかったです。

開かないスーツケースを持ち歩かって、ただの罰ゲームですからね……（涙）



気を取り直して街の写真を。

右側が今回泊まったホテル、ヒルトン・ケアンズです。  
この通り空も青く晴れていて、蒸し暑いながらも爽快でした。



ホテルの前の庭。  
まさしく南国サンクチュアリですね。

一方、下の写真はプールの様子。  
ちょうど日が暮れた時間帯でムードたっぷりです。



この広々としたプールは、なんと無料の公共プール。  
少し見えにくいですが、左奥はそのまま海で、素晴らしい開放感です。

ちなみにこのプール、市長さんがトップレスを許可したそうですが、そんな女性はどこをいくら見ても一人もいませんでした。

市長さん！  
もっとアピールした方がいいですよ！



日没後はナイトマーケットへ。  
アジアの雑多な感じとは違い、なんというか、清潔感のある夜市でした。

ちなみにスーツケースについては、無理やり開錠して完全にぶっ壊れたので、地元のショッピングモールで新しい物を買いました。

次回はグリーン島について紹介します！

## グリーン島 - 2015.03.08 Sun

---

引き続きオーストラリア旅行の様をお届けします。

到着の翌日はグリーン島へ行きました。

グリーン島はケアンズから日帰りで行ける、グレート・バリア・リーフの小さな島です。

さあ、フェリーに乗っていざ出航！



……と勇んで出発したのですが。

前にインドネシアの記事でも書きましたが、自分は船酔い体質なので、フェリーの揺れでグロッキーな状態に。

どうにか吐かずに耐えましたが、テンションはかなり低めです。

そうこうしているうちに、目的地へ到着しました。



あの島がグリーン島です。

1周40分ほどの小さな島ですが、様々なマリンスポーツを楽しめます。

今回はケアンズからの日帰りですが、島の中にリゾートホテルもあって、ゆっくり滞在できるそうですよ。





ここで楽しめるマリンアクティビティは、海水浴、シュノーケル、シーウォーク、ライセンスなしで可能な体験ダイビング等々。

のんびり海を見ていたら、ウミガメを発見しました。

こんなに浜の近くまで来るなんて、さすがは世界遺産の、グレートバリアリーフです。



さてさて。

数あるマリンスポーツの中から、自分が挑戦したのはコチラです。

ずばり、パラセイリング！



高さ100mから見る海は、それはもう、素晴らしい眺めでした。

しかし船酔い体質で、おまけに高所恐怖症の自分にとっては、重度の拷問でした。



いや……。

小型ボートですごいスピードを出すから、フェリーよりさらに揺れるんですよ……。



ちょっと体験料は高いですが、ヘリコプター遊覧も可能です。

グロッキーな自分は挑戦しませんでした。高所恐怖症でなければ楽しそうですね。

お次は潜水艇での海中観察。

潜水艇なら揺れないので、自分でも大丈夫でしょう。



上の写真は潜水艇の上部、下の写真は中の様子です。

東京ディズニーシーにある、『海底2万マイル』というアトラクションを思い出しますが、こちらは正真正銘の本物です。



いざ出発してみると、まさに天然の水族館！

それに潜水艇なので、思った通り、ほとんど揺れません。

色とりどりの魚を見ているうちに、下がったテンションが、徐々に復活してきました。



一日めいっぱい楽しんで、さあ帰りのフェリーへ。

帰りは行きよりもテンションが上がったせいか、特に船酔いもせずに、無事にケアンズへ帰り着くことができました。



船酔い体質&高所恐怖症の影響で、いまいち楽しみ切れない部分もありましたが、普段はなかなかできない貴重な体験をすることができました。

次回はキュランダ高原について紹介します！

## キュランダ鉄道 - 2015.03.09 Mon

---

滞在3日目はキュランダ高原へ行きました。

ケアンズ=海というイメージが強いですが、世界最古の熱帯雨林ウェットトロピックスという、山の世界遺産も街のすぐ近くににあります。

その高原へ向かう列車が、今回乗車する、キュランダ観光鉄道です。



ここから出発。

敷設は1886年ということで、いかにもレトロな駅舎ですね。

かつては鉱山列車だったそうですが、今は観光列車として人気を集めているようで、約1時間半の鉄道旅行が楽しめます。



ホームもこの通り、のどかな雰囲気。

構内には特に改札機もなく、誰でも入ることができます。

そうこうしていると、列車がやって来ました！



さあ、さっそく乗車しましょう。

車両には普通車とゴールド車があります。  
こちらは普通車の様子ですが、木造車って旅情を誘いますよね。



一方、下の写真はゴールド車。

椅子がソファで広々としており、それから、食事の無料サービスがあります。  
追加料金は一人\$47ですが、優雅な列車旅を満喫できます。





走り出してしばらくすると……。

おお！

目の前に巨大な滝が見えました！



このキュランダ鉄道は『世界の車窓から』でも紹介されたとか。

やっぱり列車の旅はいいですね。

昨日は船酔いでグロッキーだったので、高原の空気には本当に癒されます。



途中、バロンフォールズという駅に一時停車しました。

列車を降りて展望台へ行くと、目の前には、断崖から流れ落ちる滝が↓↓↓

ケアンズの街からそんなに離れていない場所なのに、オーストラリアの雄大さを感じさせる光景です。





ようやくキュランダ駅に到着。

今回は鉄道で行きましたが、スカイレールというゴンドラや、またはバスでも行けます。ですが風情を楽しむという点では、やはり鉄道が一番だと思います。



到着後はネイチャーパークへ。

ミニ動物園でコアラを抱っこできたり、ジャングルでクルーズが楽しめたり、ここで色々なアクティビティに挑戦できます。



そろそろ飽きてきたかもしれませんが、旅行記はまだまだ続きますので、もうしばらくお付き合いください。

次回は動物園の様子を紹介します！

引き続きオーストラリア旅行の話題です。  
今回はキュランダの動物園と、ジャングル・クルーズの様です。

それではさっそく、行ってみましょう！



入園するといきなり、カンガルー登場です。  
特に柵や檻などはなく、自由に触れ合えます。

それにしても近いですね～。



カンガルーもさることながら、オーストラリアといえば、なんといってもコアラ！

というわけで、ユーカリの餌付けに挑戦したのですが、コアラは基本的に夜行性だそうで、ちっとも食べてもらえませんでした……。



ちょっと残念でしたが、寝顔もキュートだから、まあよしとしましょう。

続いては、タスマニアデビルです。

見た目は犬に似ていますが、動物の死体を骨まで食べる、凶暴な肉食獣だそうです。



続いては、ワニさん。

甲羅干しの最中でしょうか。

気持ちよさそうな顔に見えますね。



と思ったら、一匹だけ別の柵の中に、隔離されているワニが……。

巨大なオスのワニですが、仲間を食べ殺してしまう（過去の犠牲ワニ13匹）ため、隔離されているそうです。



ミニ動物園を出た後は、ジャングル・クルーズへ。

乗るのは下のアーミーダック。

第二次世界大戦中に実際に使われた、水陸両用の頑丈な車（ボート）です。



途中まではジャングルを走行、そしてそのまま池へ突入するという、ワイルドな体験ができます。



奥の沼地へ向かって、そのままザブーン！



東京ディズニーランドにあるアトラクション、『ジャングル・クルーズ』を思い出しますが、それとは違って正真正銘のジャングルです。

昨日の潜水艦もそうでしたが、アトラクションのような体験が実際にできるというのは、ちょっと感動モノですよ。



アーミーダックの乗り場では、南国の果物が売られていました。

特に日本では高級果物のマンゴーは、冬のミカンのように有り余っているようで、スーパーでも非常に安く手に入ります。





ケアンズは小さな街ですが、その分ギュッと見所が凝縮されていて、3日間の滞在でも十分に楽しむことができました。

次回はゴールドコーストについて紹介します！

オーストラリア旅行記の途中ですが、ちょっとだけ休憩して別の話題を。

先日メールをいただいて知ったのですが、某掲示板（自分とは直接的な関係がない板）に、常木らくだの名前が上がっているようで。

個人的な問題なので詳しくは触れませんが、自分はそういう事をあまり気にしないので、書き込み自体は別にまったく構いません。

むしろわざわざ教えてくれて、逆に親切だなーと感じました。

悪意のある人は一方的に書き込んだまま、連絡なんて絶対にしてきませんからね（汗）

そんなわけで悠長にやっている当ブログですが、一つだけ禁句というか、言われたくない言葉があったりします。

それはズバリ、

「ブログを書く暇があるなら、その時間に執筆したら？」

いや、暇じゃねーよ。

まったく暇じゃねーけど、時間作ってやってんだよ。

なんて言うと言葉が悪いですが、自分にとってはブログも執筆も同じくらい大切なので、「執筆の方が格上の作業に決まってるだろ？」みたいな発想はすごくイヤだなーと。

確かにブログに費やしている時間は長いですが、長い目で見れば、ブログを書くことで執筆意欲も上がっていますし。

というわけで進んで禁句を披露しましたが、これは「まんじゅう怖い」的な前振りではありませんので、皆さん絶対に言わないでくださいね。

次回からはまた旅行記に戻ります！

## 『プレーンズ』の感想 - 2015.03.12 Thu

---

旅行記を書く予告しつつ、フェイントで、もう一つだけ別の話題を。  
移動の飛行機の中で、映画『プレーンズ』を見たので、今回はその感想です。

まず簡単にストーリーを紹介すると、高所恐怖症の農薬散布用の飛行機が、世界一周レースで優勝を目指すという、非常にわかりやすい成功物語です。

ちなみにこの映画、世間的な評判は、微妙なんですよね。

確かに『カーズ』の続編という目で見ると物足りないですが、あくまで世界観を借用したスピンオフ作品だと思えば、これはこれとして楽しめるかなー……という感じです。

映像は文句なしにキレイでした。  
自分で空を飛んでいるような爽快感がありました。

ただ、途中でいい仲になった女性に騙されたり、尊敬する師匠の経歴が実は嘘だったり、重要な感情のターニングポイントが、非常に駆け足で終わってしまった印象です。

え、そこはすごく大事でしょ？ そんな簡単に次のシーン行くの？ みたいな。  
高所恐怖症は伏線かと思いきや、たいした葛藤もなく、終盤であっさり克服しますし。

結果として残った印象は、「パツとしない存在だった主人公が、それほど苦勞をすることもなく、当然のように世界一になる無双作品」。

正直、損してると思います。  
内容はこのままでも、途中の見せ方次第でよくなりそうなのに、もったいないです。

図々しい仮定ですが、もし自分がワナビとしてこの作品を改稿するなら、レースやギャグのパートを少し減らして、主人公の感情描写に尺を使うな……なんて思ったり。

『プレーンズ』を見ていない方にとっては、何が何やらという話題だと思いますが、思わずそんな風に考えた映画でした。

どうもです、らくだです。

今回は執筆状況のひとりごとです。

え、旅行記の続き？

いやそれは、写真のアップが追いつかなくて、ですねえ……（目そらし）

まあ旅行記を心待ちにして、今か今かと更新を待ち構えている人はいないと思うので、それはまた後々じっくりと。

というわけで、執筆状況なんですが、迷走中です。

それというのも、新作はいい具合に書けていると思ったのに、旅行から戻って約一週間振りに読んだら「何じゃこりゃ？」な状態で。

これじゃ表現したかった内容が、まったく書けてないなあーと。

いい具合だと思っていたのは、たぶん作業に没頭しすぎて、感覚がマヒしてただけで。

そんなわけで脳を切り替えるべく、一つ前の作品の、完全な書き直しを始めました。

まだ一作も完成してないのに、よりによって残り3週間しかないこのタイミングで、改稿に手を出すっていうね。

これはもう完全に死亡フラグだと思いますが、フラグの有無に関わらず自分はどっちみち死亡するに違いないので、無謀なチャレンジをしてみてもいいかなーと。

そういうわけで今回は、うまくいったら2作、ダメなら0作の参戦です。

まあ、無謀な挑戦が許されるのは、投稿者の特権（？）だと思いますので。

どうなるか最後までわかりませんが、ギリギリまで粘ってみるつもりです。

オーストラリア旅行記の続きです。

ケアンズに3日間ほど滞在した後、ゴールドコーストへ移動しました。  
どちらもリゾート地なのですが、ケアンズに比べると、ゴールドコーストは都会です。

下の写真の通り、高層ビルあり、路面電車あり。  
都市とリゾートが融合した、バランス抜群の、過ごしやすい街でした。



小さいけれど見えるでしょうか、道の街路樹がなんとヤシの木。  
いかにも南国ムードたっぷりで、早くもテンションが上がります。

今から左の高層ビルにある展望台、『スカイポイント』へのぼります。  
ちなみに高さは322メートルで、東京タワーとほぼ一緒です。



エントランスから上を見上げた様子。

いざエレベーターに乗ってみると、壁に格好いいモニター画面が。

天井にカメラがあるようで、超高速で上昇する様子が、リアルタイムで見られます。



赤いのは現在位置、下はアナログ風の时速表示、反対側には上下反転した映像。

このサイバー感！  
ワナビ心をくすぐられる！



というわけで、一瞬で到着。

エレベーターを降りた瞬間に、この展望台は期待できると、なんとなく直感しました。

急いで窓際へ駆け寄ってみると……。





ジャジャーン！

写真で伝わるかわかりませんが、海と空と高層ビルが目の前いっぱい広がる様子は、まさに圧巻の一言っ  
て感じです。

ちょっと画像が暗いですが、足元に目を向けると、「東京 7220km」という表示が。  
この真北に東京があるんだと思うと、不思議な気持ちになってきます。



海とビルに注意が行きがちですが、街の風景も興味深いものでした。

ゴールドコーストの街中には、川が蛇行して流れているんですが、川沿いの白いでっぴりは何なのでしょう  
うか？



拡大してわかりましたが、これらはすべて、ボート乗場なんですね。

ゴールドコーストに別荘を建てるような人達は、当然自家用ボートを持っているわけで、家から海へ直接  
繰り出しちゃうわけです。



おい見ろよ、プールまであるぜ！  
写真は撮れなかったけど、自家用ヘリも飛んでるぜ！

なんかもう別世界って感じですね（汗）

日中は高層オフィスで働いて、アフター5はそのまま海へ。  
泳ぎ疲れたらボートで別荘へ帰り、プール沿いで、ワインを飲みつつ星を見上げる。

うおおおおん！  
そんな生活してみたい！



写真の白い建物は、ジュピターズ・カジノ。  
そうです、ゴールドコーストにはカジノもあるのです。

高層ビルあり、海あり、山あり、カジノあり。  
こんな非の打ちどころがないリゾート地は、正直言って初めて見たような気がします。



しかし魅力はこれだけでなく、郊外へ足をのばせば、テーマパークが目白押し。

というわけで、今回は動物園と遊園地が合体したテーマパーク、その名も「ドリームワールド」の様子を紹介します！

ゴールドコーストの郊外には、『ドリームワールド』という、テーマパークがあります。  
写真が大量にありますので、3回に分けてお届けします。

まずはコチラ。

入場ゲートの様子です。



ディズニーランド感パネエ！

いや、テーマパークの入口というと、どうしてもこういう印象になるわけで、別にパクったわけじゃないんでしょうけど……。



入場した後の雰囲気も、まさしくディズニー。

ただしディズニーランドと大きく違うのは、このドリームワールドは、絶叫系に定評のある遊園地だという点。

一見かわいらしく見える街並ですが、ふと顔を上げれば、絶叫マシンが並んでいます。



例えばコレ。

時速 105km で回転しながら落ちる、「バズソー」というアトラクション。

見た目は赤いハート形なんですが、ロマンチックさは皆無ですね（汗）



どうして煙突があるんだ……と思いきや、これも絶叫系アトラクションで、その名も「タワー・オブ・テラー2」。

「1」がないのに、どうして「2」？

まさかディズニーからの訴えを回避するため？





ちょ、このオブジェも、どっかで見たことあるよ！（正解：USJ）

アトラクションは既視感ありまくりなので、アニマル・エリアへ移動してみましょう。  
そう、ここドリームワールドは、遊園地と動物園が合体したテーマパークなのです。



羊狩りのショーの様子。

追いかける猟犬が強すぎて、羊達は、本気で逃げ惑っていました。

一方こちらは、ワニの餌付け。





ワニは直立可能だと証明する写真。  
エサを取る一瞬なのですが、かなりインパクト大です。

続いてタイガーショーへ行くと、ちょっ、スタッフがトラの間近に……！



見ているこっちがドキドキしますが、よっぽど訓練されているのか、トラはスタッフを襲うこともなく、次々と難しい芸を繰り出します。

跳躍の瞬間を激写！



木登りも見せてくれました。

トラに襲われて木に登っても、無駄ということですね。

いや、トラに襲われる状況なんて、そうそうないとは思いますが。



というわけで、絶叫系あり、動物ショーあり。

大充実のドリームワールドですが、ここへ来た目的は、決してそれではありません。

次回は本命エリアの様子をお届けします！

どうもです、らくだです。

引き続きドリームワールドの様子をお届けしますが、ここでちょっとパークマップを確認しましょう。



あれ、中心に見覚えのあるマークが……？

そうです！

なんとこの遊園地には、ドリームワークスのエリアがあるのです！

自分はディズニーマニアですが、同時にドリームワークスマニアでもあるので、これはもう絶対に見逃せません。



三日月に乗った少年が釣糸を垂らす、お馴染みのこのマークは、映画の冒頭で必ず出てきますよね。

このロゴマーク、何気ないけど発想がオシャレだな、と思います。



まずは来ました、マダガスカル！

素敵な記念撮影スポットがありました。

オブジェでもしっかり、首の長さをネタにしている、作り込みが細かいです。



一方下の写真は、シャワー（？）スポット。

不用意に近付くと、突然キャラの口から水が飛び出すという、いかにもドリームワークスらしい趣向です。



全体的に絶叫マシンが多いこの遊園地ですが、さすがにこのエリアは怖さ控えめで、子供が楽しめるアトラクションが多かったです。



心と顔を上げると、ま、まさか、あのお方では……！



長靴をはいたネコ。

そう、ここはシュレックエリア。

泥沼のお風呂に入るシーンが再現されていました。



実を言うとドリームワールドでは、アトラクションを楽しむのも当然ながら、オリジナルの短編映画が見られちゃいます。

上映時間は30分少々と短いですが、ここでしか見られない内容なので、マニアにとっては足を運ぶ価値アリ！



今回見たのは大好きな作品、カンフーパンダの短編です。

そんなに大好きなら、何故カンフーパンダのエリアを、全然紹介しないのか？  
それはズバリ、じっくり紹介したいので、次回に取っておこうという作戦です。



しかし見たはいいけど、英語だから、わけがわからないよ！  
全然聞き取れませんでした、絵から想像すると、たぶんこういう内容でした。

『タイランとの戦いを経て伝説の龍戦士になったポーは、クリスマスの夜に、カンフー協会の晩餐会を主催しないとイケない。クリスマスは家族と過ごすべきなのに、父さんを一人っきりにしていいのか？ 使命と家族愛の間で葛藤するポーは、晩餐会を途中で放棄して家へ帰るが、協会員に真心が認められてハッピーエンドに……（ほぼ想像）』





というわけで。

映画は正直消化不良でしたが、英語力が不十分でも、アトラクションは楽しめます。

次回はカンフーパンダのエリアを紹介します！

ドリームワールドの続きです。  
今回はカンフーパーダのエリアを紹介します。

まずは入口の様子から。  
チャイナっぽい雰囲気、テンションが上がります。



裏側から入ってしまったので、実は上の写真は、最後に撮ったんですけどね（汗）

エリアの中はこんな感じ。  
それほど広くはありませんが、映画に出てきた町が、見事に再現されています。



おお！  
屋根の下に見えるのは、ひょっとして「マスター5」！？

慌てて駆け寄ってみると……。



ジャジャーン！

世界観の再現はもちろん、ここはテーマパークなので、乗物も用意されています。  
カンフーパーダ・マニアとして、関連アトラクションには、是非とも乗りたいところです。



一つ目はこちら、パンダモニアム。

見た目はメリーゴーランドです。  
しかしアトラクションが動き出すと、突然恐ろしい事実が発覚します。



写真は止まっている状態ですが、360度、グリーンと回転する乗物でした。

おおう……。

乗る前に気付いて本当にセーフ……。



こちらはゴーカートっぽいアトラクション。

一見ほほえましい印象に見えますが、衝突しまくって玉突き事故が発生、軽い車が吹き飛ばされるという、意外と修羅場なアトラクションでした。



こちらの看板はミーティング・スポット、ディズニー流に言えばキャラグリです。

ちなみに表示されている時間、両方会いに行ったのに、ポーはいませんでした……。平日だったからでしょうか……。



ポーのラーメン屋も再現されていて、店内にはガチョウのお父さんが。写真は切れてますが、右のテーブルには、ウサギのお客さんが座ってました。

壁を見上げると、こんな演出が。





ドラゴン・ゲート・イン。

一瞬読めませんでしたでしたが、漢字風に書いた、アルファベットなんですね。

もちろんテーマパークの例に漏れず、売店には、キャラクターグッズも売っています。

カンフーパンダの公式グッズは、日本では入手できないレア物です。



激しい絶叫マシンあり、動物園あり、キャラクターエリアあり。

ここドリームワールドは、あらゆる客層にこたえる、素敵なテーマパークでした。

さすがにゴールドコーストなので、日本からかなり遠くはありますが、足を運んで損はないと思います！



## ゴールドコーストの街中 - 2015.03.18 Wed

---

ドリームワールドの印象が強かったので、そちらを先に紹介しちゃいましたが、今回はゴールドコーストの街中を紹介します。

まずは飛行機で撮った写真。

青と白のコントラストが美しいです。



オーストラリアの地図を見るとよくわかりますが、ケアンズからゴールドコーストの航路は、グレートバリアリーフのほぼ真上を飛ぶようです。

雲さえかかっていなければ、サンゴ礁の海や島が見えるので、是非とも窓側に座りたいところですね。



セブンイレブンのガソリンスタンド。

空港からホテルへ向かう途中で見ました。

そうこうしていると、本日泊まるホテルが、徐々に見えて参りました。



スカイポイントの記事でも紹介した、ジュピターズ・ホテル&カジノです。

ガイドさんの説明によると、この建物は、「く」の字になっています。  
賭けたお金がお客さんに返るように、ブーメランの形をしているそうです。

正面から見た方がわかりやすいでしょうか。



自分の個人的な考えを言うと、海から流れてきた財気を「く」の字で留めて、周囲の池に循環させてるんだろうなあとと思うのですが。

ここはオーストラリアなのでわかりませんが、マカオのカジノは例外なく、風水に基づいた儲かる構造に設計されています。

建物のデザインを眺めながら、裏の狙いを想像するのも、マニアックな楽しみ方です。



こちらはホテル内の様子。  
吹き抜けが開放感たっぷりですね。

ここからビーチまでの距離は、歩いててもそう遠くありません。



林立する高層ビルに、世界レベルの海！

こんな街で暮らしていたら、映画のようにオシャレな生活ができそうで、思わず憧れてしまいますね。



高層ビル群はホテルの窓からもばっちり見えました。

下の白い建物は、カジノには付き物(?)の、コンベンション・センターです。

何気なく街を散策していると、中華系のスーパー、その名も「玉鑫超市」を発見。



夜のお店もありました。

フランクフルト屋ではありません。

何を売るお店かは……わかりますね？



最後にもう一度、ホテルの写真を。

え、カジノ？

我慢して行きませんでしたとも！



というわけで。

オーストラリア旅行記最終回の次回は、ゴールドコーストから日帰りで行った、ブリスベンの様子を紹介  
します！

## ブリスベンの街中 - 2015.03.19 Thu

---

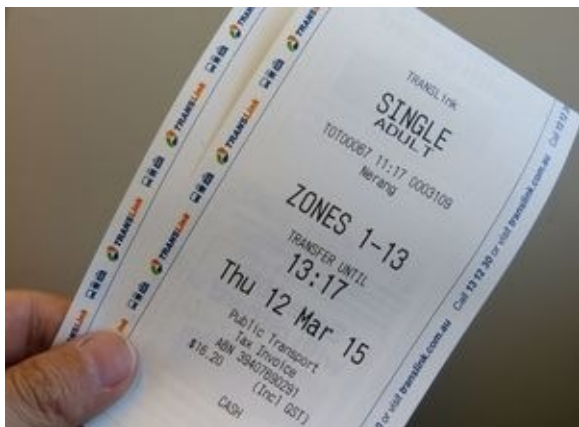
オーストラリア最終日は、自由行動の予定です。

海も山もテーマパークも満喫したし……というわけで、最終日は日帰りで行ける、ブリスベンへ行ってみることにしました。



この電車で向かいます。

ゴールドコーストからの距離は、およそ40分といったところ。  
大阪から京都へ行く程度の気軽さで、何気なく行けちゃうわけですね。



窓口で切符を購入。

自動券売機は一応あるのですが、英語である点を差し引いても表示がわかりにくいし、タッチパネルの反応も微妙でした。





飽きないうちに到着して、セントラルの駅を出ると、いきなり大都会です！

まず向かう場所は、シティホール。

この建物の中にある、ブリスベン博物館（無料）を見学しました。



それにしても、暑いなのなの。

緯度は沖縄と同じくらいなので、常夏と呼んでもいい気候です。

街の中心から少し歩くと、ストーリー・ブリッジという、立派な橋が見えました。



全長 777 m のこの橋では、ブリッジ・クライミングという、橋をのぼるアトラクション (?) が体験できます。

目を凝らしてよく見ると、今も挑戦者がいるようで、人の姿が確認できます。



自分は高所恐怖症なので、もちろん挑戦してません。

街の様子はシンガポールに似ていました。

特に下の風景は、高層ビルや川沿いの雰囲気、マーライオンパークにそっくりです。



近くには中華街もありました。

しかし昼間の割には活気がなく、開いているお店も少しだけ。

せっかく行ったのに残念でしたが、夜は賑やかなんでしょうか……？



最後にオマケ、ポストの写真。

ポストの色は国によって様々ですが、オーストラリアのポストは、日本と同じで真っ赤のようです。



もう一つオマケ。

オーストラリアの定番おみやげ、ティムタムのチョコレートです。

普通の味のティムタムは、成城石井などで買えますが、個別包装されたレア版です。



というわけで正味一週間、とても楽しい旅行でした！

オーストラリアは初めてでしたが、明るい雰囲気、とても過ごしやすい印象でした。

今回はケアンズとゴールドコーストでしたが、いつか機会があれば、他の都市にも行ってみたいと思います。

オーストラリア旅行記が終わったので、投稿の話題に戻りたいところですが、その前にフィギュアスケートの話をしてみます。

いよいよ来週は世界選手権。

というわけで、フジテレビの公式サイト内に、特設ページが開設されました。

【フジテレビ・特設ページ】

<http://www.fujitv.co.jp/sports/skate/world/index.html>

3月26日(木) 19:00～21:24 女子ショート

3月27日(金) 14:00～16:50 ペア、アイスダンスフリー、19:57～23:07 男子ショート

3月28日(土) 18:30～23:10 男女フリー

3月29日(日) 19:00～20:54 エキシビション

ペアとアイスダンスの放送は、残念ながら関東のみです(涙)

そして、フィギュアスケートTVの情報によると、

「今回は放送枠が長めなので、通常はカットしてしまうような前半グループの演技も、たくさん紹介できるかも？」という話。

関東のみは残念ですが、これは期待大ですね！

確かに男子ショートとか、3時間も枠が取ってある！

それにしても、どうしてフィギュアスケートの大きな試合って、いっつも締切り直前なんですか？(汗)

まあでも、ワールドを見逃すことはできないので、原稿は原稿でしっかり頑張りつつ、楽しみに観戦しようと思います。



## 『ベイマックス』の感想 - 2015.03.21 Sat

---

今さらではありますが、『ベイマックス』を見たので、今回はその感想を。

先に言っちゃおうと、おもしろかった！

この内容なら、映画館で1,800円払っても高くない、と思います。

そもそもこの映画、予告や広告やポスターの内容は、ヒューマン・ドラマを前面に押し出した印象じゃないですか。

「少年とロボットの心の交流」とか、「優しさで世界を救えるか」とか。

そんなわけで、ほのぼの系だと思って見始めたら、実際は想像以上にアクション系で、「ほのぼの要素<<<アクション要素」だったという。

しかし単なる冒険活劇に終わることなく、そこはやっぱりディズニー・クオリティで、心の交流もしっかり描かれているという名作でした。

オチは想像可能な気もします。

でもそれは悪いことではないと思います。

途中で「こういうシーン出てくるだろうな」と予想したシーンが、やっぱり終盤で出てきて、予想できていたくせに本気で泣いてしまったという……。

自分も創作者（になりたい人）だから思うけど、予想できる話をしっかりと丁寧に描いて視聴者を感動させるって、実はものすごい至難の業だと思うんですね。

というわけで、爽やかな感動をもらって、しかも勉強にもなったという、非常に有意義な体験ができました。

個人的にはアナ雪よりもオススメなので、まだの皆様は機会があれば、是非とも一度視聴してみてください！

ヤバイって言うともっとヤバイ自分の立場がないからヤバイって言わないで- 2015.03.22  
Sun

---

こんばんは、らくだです。

旅行記でだいぶ記事を消費しましたが、久し振りに小説投稿の話をしてみます。

もうすぐ4月になりますが、春の賞に投稿される皆様は、もう原稿を上げましたか？  
ちなみに自分は、まだ中盤を書いており、涙目で執筆中です。

いや、大丈夫っすよ！

締切りまでにちゃんと出します！

これだけ長く投稿を続けていると、自分が小説を書く速度は自分でわかるので、そのデータに基づけば完成させるのはたぶん可能。

ただ、すでに複数作品を書き上げている方が、

「3作目の推敲が終わらない！ ヤバイよ！ あと〇〇日しかないのに！」

とか言っているのを聞くと、思わず冷汗ダラリです。

3作目の推敲が終わらなくてヤバイなら、1作目の本文を書いているオイラは、いったいどうすればいいんだい……？

これは、アレですね。

十分に痩せてる女の子が、「あたし〇〇キロも体重あって超ヤバイ〜！」っていうのと、同じ種類のダメージ感覚。

というわけで、作業が充分に進んでいて余裕のある皆様は、あまりプレッシャーを与えないでください！  
(マジで懇願)

いや、ここまで追い詰められているのは、ぶっちゃけ自分が悪いんですけど。

とにかく早く仕上げてしまい、心身ともに晴れやかな気分で、春を迎えたいと思います。

投稿仲間さんからの差し入れで、チョコレートをいただきました。

ジャジャーン！

写真付きで自慢しちゃうよ！



なんとゴディバです。

これはリアルに嬉しいですね。

自分は酒も好きなんですけど、甘い物も大好きなので、家にチョコは欠かせません。

ただ味が素敵なお値段も素敵なので、百貨店で売っているようなチョコは、なかなか自分では買えないんですよ（汗）

なので家に常備しているのは、いつも近所のスーパーで特売している、ブルボンのチョコレートです。



さっそく開封してみました。

白いハート形の物を食べてみましたが、小粒ながらも濃厚&まろやかで、やっぱり違うなあーという感想。

2つ目に手が出そうになりましたが、そこは我慢して、1日1つずつ楽しもうと思います。

それにしても、投稿仲間さんから贈り物をいただけるなんて、執筆&ブログをやっていて本当によかったなあって実感します。

本来の目標は受賞ですが、こういう幸せも、投稿の贈り物ですよ。

執筆もやっと佳境という状況ですし、元気を補充して、ますます頑張りたいと思います。

こんばんは、らくだです！

いよいよ3月も下旬になり、春らしくなってきました。

花粉症の本番でもありますが、外があたたかいと、やっぱり気持ちいいですね。

さてさて。

説明するまでもなくバレバレだとは思いますが、ブログの更新が大幅に乱れており、1日1回という目標が達成できておりません。

これだけ長らく放置してしまうと、コメントをチェックするのも心苦しく、編集画面をクリックできないという心境……。

いや、それじゃダメだ！

今日からちゃんと復帰するんだ！

そう決意してコメントを見たら、「常木らくだ、お元気で」というメッセージが、ちょっと前に入っていた件。

コメント主様、「お元気ですか？」と聞いたかったなら、元気ですよ！

ただこのメッセージ、下手すると別れの挨拶みたいで、すげー寂しいです！

っていうわけで、更新は乱れておりますが、私は元気です。(キキの口調で)

原因はまあ、言うまでもないと思いますが、締切りです。

普通に書いたら間に合わないので、白目になりつつ、通常の3倍の速度で書いてます。

ただ毎日がむしゃらに執筆している分、創作について語りたい思いが溢れまくっているので、様子を見ながら少しずつアップしていきたいと思います。



ブログが負担なら更新頻度を落とせば？

という心配の声も届いておりますが、まったく問題ありませんので、これからも毎日チェックしてね！

いやいや。

まったく負担じゃないですよ。

そもそも負担に感じていたら、こんな3年も続けてませんし。

ただほら、締切りまで××日だから、今はちょっと時間がね……？

(何日か書きちゃうと、多大なダメージを受けるので、明言を避ける手法)

というわけで、カレンダーを見るのが真剣に怖い、最近の自分です。

そうそう、そういえば。

よくコメントをくださる方から、某賞の落選報告を頂戴しました。

こういう知らせが届くのは、やっぱり嬉しいですよ！

いや、他人の落選が嬉しいわけじゃないですよ？

性格悪い自覚はありますが、まさかそこまで、鬼畜生じゃないですから。

ただ定期的に結果報告が届くと、「アイツも頑張ってるんだな」と思えて、自分のやる気もより一層アップするというか。

そんなわけで、賞の結果を誰かに教えたいと思っている人は、常木らくだにコメントを送ってみればいいんじゃないかと思います。

とりあえずその方とは、次に送る賞が同じなので、自分も頑張ろうと思います！

いつも応援している投稿ブログを見たら、「セリフを地の文へ組み込む」手法が紹介されていたので、自分も真似してよく使っている手法を紹介したいと思います。

技術と呼ぶほどたいした話でもないですが、自分がよく使うのは、「他のキャラに反復させる」という手法です。

【例1】

「俺はワナビだ。小説投稿をする人間だ」

【例2】

「俺はワナビだ」

「ワナビ？」

「小説投稿をする人間だ」

こんな感じに、他の人に反復させることで、単語と説明を分割するわけです。

1つの言葉を説明する程度なら、例1でもまったく違和感はないですが、複雑な状況を説明する時なんかは便利です。

同じ人のセリフが何行にもわたって続くと、「わざわざ説明してますよ」感が、ありありと出ちゃいますからね。

あとは、タメを作りたい時や、特に強調したい時も、他の人の反復は便利です。

【例1】

「また落選だった。でも、投稿は続けるぜ」

【例2】

「また落選だった。でも……」

「でも？」

「投稿は続けるぜ」

これだけ短いフレーズだと、あんまり効果的に見えないですが、長いセリフが続いちゃってる時にはいいかなーと。

まあ、だから何だよって話ですが、ふとそんなことを考えたので、ちょこっと紹介してみました。

また何か思いついたら、改めて書こうと思います。



こんばんは、らくだです。

今回はフィギュアスケートの話題です。

世界選手権の感想について、ひとりごとを語ってみます。

まずはトゥクタミシェワ選手！

トリプルアクセル完璧に降りましたね！

現役の女子選手で認定されているのは、浅田真央ちゃん一人という大技なのに、いとも軽々と成功したように見えました。

しかも後半に3-3が入るっていう、史上最高クラスの構成を組んでいる割に、「え、そんな難しい技なの？」って思えるくらい演技の完成度も素晴らしかったです。

彼女は元々才能のある選手だと思いますし、本来の実力を考えれば今回の神演技も納得なんですけど、なにしろ昨シーズンがものすごく不調だっただけに、まさかこんな復活をするなんて失礼ながら考えていませんでした。

なんか、本当に。

人って1年間でこんなに変わるんだ、って。

それを見せつけられたようで、観戦しながら感動に震えました。

自分に重ねるのも凶々しいですが、小説投稿も基本的には1年単位なので、自分もこれだけ成長するんだっていう、上を目指すための目標にしたいと思いました。

あとはやっぱり、宮原選手の銀メダルは、ファンとしても地元としても嬉しいです。

これだけ注目されても、彼女は相変わらず発言が謙虚で、そこも好感度大ですよ。

男子は、出場枠が2枠に減ったという点では残念でしたが、また1か月しないうちに国別対抗戦もありますし、今シーズン最後の舞台でリベンジをして欲しいです！

こんばんは、らくだです。

今回もフィギュアスケートの話題です。

テレビ朝日の公式ホームページ内に、4月に開催される国別対抗戦の、特設ページが開設されています。

【特設ページ】

<http://www.tv-asahi.co.jp/figure/wtt2015/>

【放送予定】（一部地域を除く）

4月16日（木） 18：30～ 男女ショート

4月17日（金） 20：00～ 男子フリー

4月18日（土） 18：30～ 女子フリー

4月19日（日） 18：57～ エキシビション

【出場国】

日本、ロシア、アメリカ、カナダ、フランス、中国

今回の出場6か国はGPシリーズ開催国と一緒にです。

優勝争いは女子が突き抜けたロシア、全体的な総合力のあるアメリカ、ペアやアイスダンスも強いカナダ、あたりの国々が予想されるでしょうか。

その戦いに日本も加わって行って欲しいですね！

それから国別対抗戦は、パーソナルベストも認定されますし、その点も楽しみです。

この国別が終わってしまうと、来シーズンまで試合はお預け。

夏場はアイスショーがたくさんありますが、自分はどっちかと言うと試合を見る方が好きなので、シーズン最後の大会を楽しみに待ちたいと思います。



こんばんは、らくだです。

スケートの話が続きましたが、今回は発表に関する話題です。

今さら記事にするのも遅すぎですが、なろうコンの1次結果が発表されたので、こっそりリンクを貼っておきます。

【発表ページ】

<http://www.wtrpg9.com/novel/info/098.html>

応募総数 6284 作品

1次通過 420 作品

通過率 約 6.7 %

応募数や通過率もさることながら、上のページに全体の講評が詳しく載っていて、それが為になるように感じました。

公募とネット小説のコンテストでは、求められる要素がほんのちょっとだけ違うような気もしますが、ここに書いてあるアドバイスはすごく参考になるんじゃないかと。

特になるほどーと思ったのは、「言葉を重ね、丁寧に書けばかくほど、かえって読者には伝わりにくいことがある」という指摘。

これ、一瞬グサッとくるけど、確かにその通りですよ（汗）

自分はストーリーの本筋に関係ない日常描写を、結構ダラダラ書いてしまう方なので、気をつけなきゃ……と冷や汗が流れました。

そういうわけで、まだ未チェックの方がいらっしゃれば、覗いてみると参考になるのではないかと思います。

以前このブログで紹介した、えんため大賞のボーカロイド楽曲部門について、結果が発表されました。

小説投稿と直接的な関連はないですが、同じえんため大賞ということで、リンクを貼っておこうと思います。

【発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/17vocal.html>

ショートソングコース

応募総数 186 作品

最終選考 23 作品

フルソングコース

応募総数 7 作品

最終選考 1 作品

先に発表されたゲームエッセイ部門は受賞作なしだったので、なんとなく寂しく思っていたんですが、ボーカロイド楽曲部門は4作品が受賞という結果でした！

作品はすべて発表ページから聴けますが、自分で作詞できるって、改めて考えるとすごいですよね。

実はこの賞の募集が始まった時に、自分も挑戦しようと思ったんですが、全然何も出て来なくて挫折したという……（汗）

言葉をゼロから生み出すのは、実に大変な作業なんだと、また改めて思い知りました。

要項ページは今のところ更新されていませんが、今後も継続的に募集があるのか、引き続きチェックしていこうと思います。

どうもです、らくだです。

3月31日の記事ということで、年度末の挨拶をしてみます。

2014年度の自分は、一言で表現しちゃうと、何もできませんでした！！

いや、もうね。

遠慮でもなく、笑い話でもなく、マジな話っす。

小説もまったく書けてないし、前年までと比べたら他の投稿者さんとの交流も全然できなかつたし、成績もパツとしなかつたし。

あっ、成績がパツとしないのは、いつも通りの話ですね！（吐血）

でも創作ができなかつた分、現実では色々ありました。

色々ありまくって、一周してまた元の位置に戻ってきた、っていう気分です。

とはいえ、また同じ場所に戻ってきても、自分自身は1年前とは違うので、その成長具合を創作にぶつけられたらいいなーと。

細かい技術もさることながら、小説って結局は、人間力が問われると思うので。

まあ、人間力の欠片もない自分が言っても、寂しいくらい説得力がありませんが。

というわけで、自分用の日記みたいになりましたが、来年度は創作に復帰できると思うので、細く長くゆるゆると活動を続けていきたいです。

ちなみに、投稿6年目が終わったので、次は7年目。

活動歴は長い方だと思いますが、まあ焦っても仕方がないので、マイペースで進もうと思います！